

平成23年12月1日

フジイ化工株式会社

「ユメプラスチック」が「地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想」における地域資源として、国から地域資源の追加認定を受けました！

フジイ化工株式会社と安城商工会議所（安城市桜町、田村脩会頭）が運営している工業製品による地域ブランド事業「AnjoHeartsPROJECT」（理事長：当社社長 藤井達雄）にて企画・製造を行っている、新たなエコマテリアル「ユメプラスチック」が、中小企業地域資源活用促進法に基づき策定している「地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想」（以下、基本構想という）について、地域資源の追加申請を行い、平成23年11月30日に国の認定を受けました。

地域のぬくもりに支えられる新たな環境資源「ユメプラスチック」

「ユメプラスチック」は、市民や地域の団体が収集したペットボトルキャップによって生まれるリサイクルプラスチックです。ペットボトルのキャップ収集事業を行い、キャップをゴミとして焼却処分するのではなく再資源化を促進することで、焼却処分に伴うCO₂の発生を抑制し、地球環境を改善。併せてキャップの再資源化で得た売却益をもって世界の子どもたちにワクチンを寄贈し救済することを可能とする、地球環境とヒトに配慮したリサイクルプラスチックです。



現在、リサイクル向けに国内で回収されたペットボトルキャップの約3%が安城市に集積しています。子どもたちが回収したキャップを障がい者施設にて色ごとに選別することで、リサイクル材でありながら美しい発色を実現。市民のエコ活動に支えられるこのエコマテリアルを「ユメプラスチック」と名付け、地域資源として展開しているものです。

【ユメプラスチックの特長】

- (1) ペットボトルキャップ800個相当をリサイクルした際に発生する収益の一部を以って、先進途上国にポリオワクチンを寄贈します。
- (2) キャップを焼却処分した場合と比較して、キャップ800相当で6,300gのCO₂発生を抑制します。
- (3) キャップの色別選別作業を障がい者施設に1kg35円にて有償委託し、障がい者雇用を実現します。
- (4) リサイクル材でありながら、豊かな発色性を実現しています。

AnjoHeartsPROJECT について

Anjo Hearts PROJECT は、愛知県安城市内の異業種18社25名からなる共同事業体です。事務局を安城商工会議所に置き、全国環境首都コンテスト第3位に位置する環境保全活動と、自動車産業の裾野で培った製造技術力を駆使し、世の中になく新しいコンセプトの商品を発信することで、新たな産業を切り拓くために地域の総力を挙げ、様々な試みを行っております。

これまでに、北海道宇宙科学技術創成センター（事務局：北海道札幌市、理事長：伊藤献一氏）が開発したCAMUIハイブリットロケットの打ち上げに供する固体燃料や、ペットボトルキャップで絵を描くための世界初の専用ツール「キャップアートパネル」等の製品を、全てペットボトルキャップ100%の再生材「ユメプラスチック」で企画・製造してまいりました。

ユメプラスチックの使用例

▼ ハイブリットロケット固体燃料

Anjo Hearts PROJECT では、特定非営利活動法人「北海道宇宙科学技術創成センター（HASTIC）」が中心となり、

北海道大学、北海道工業大学等の北海道内の大学・植松電機をはじめとする北海道内の民間企業によって開発が進められているCAMUIハイブリッドロケットに使用する固体燃料を、前出の「ユメプラスチック」のみで製造しております。

CAMUIハイブリッドロケットは、CAMUI (Cascaded Multistage Impinging-jet、縦列多段衝突噴流) という、燃焼ガスが固体燃料表面への衝突を順次繰り返す燃焼方式を採用し、燃料の燃焼速度を高めています。このことで推力があまり大きく取れない、という従来のハイブリッドロケットの弱点を克服し、推力400kgf (約3900N) という固体ロケット並の小型高推力化に成功しています。ハイブリッド化により、現在の実用固体ロケットに比べ燃料費を200分の1以下とし、またエンジン部分を含め機体のほぼすべてをプラスチック化することにより軽量化をはかり、トータルで現用の実用固体ロケットに比べ、打ち上げ費用を10分の1以下とすることを目標としています。

なお、上空60kmでの大気採取を目的としている気象観測用400S型の開発のほか、2006年2月に提携した米国ロケットプレーン社のロケットプレーンからの空中発射により、小型人工衛星を打ち上げる構想もあります。



▼ キャップで絵を描くための世界初の専用ツール「キャップアートパネル」

AnjoHeartsPROJECTが企画・製造・販売する「キャップアートパネル」は、使用済みのペットボトルキャップをはめ込み、ドット絵を描く「エコキャップアート」の専用ツールとして、世界で初めて製品化されたものです。ペットボトルキャップも捨てればゴミですが、再生可能な資源であると同時に、本製品によってドット絵の部材となります。子どもたちに環境の大切さを伝えると同時に、ドット絵を描くことで創意工夫を促します。「キャップアートパネル」はユメプラスチックのみを原材料としており、ペットボトルキャップ以外に、着色料や安定剤などの余分な添加物は一切使用しておりません。

また、「キャップアートパネル」は「Product for 1Child システム」を設定し、本製品販売1つ当たりの収益より、1人分のポリオワクチンをNPO法人エコキャップ推進協会(事務局：神奈川県横浜市、理事長：笹森清氏)を通じ、途上国の子どもたちに寄贈します。リサイクル材の製品化・販売を通じ、福祉活動の一助を担います。

現在、企業看板や学校祭、その他イベントにご利用いただき、平成22年11月15日の発売以来、本日までに35,666枚を販売してまいりました。



中小企業地域資源活用促進法について

この法律は、地域に存在する特産物、観光資源等の「地域資源」を活用して新たな事業活動を行う中小企業を支援し、地域経済の活性化を図るものです。法律に基づき、国は基本方針を策定、県が基本構想により地域資源を指定します。中小企業は、基本構想に指定された地域資源を活用した新たな事業計画を作成し、国の認定を受けることにより、補助金や低利融資等の支援策の活用が可能となります。

基本構想における地域資源の追加等について

愛知県では、基本構想において地域資源を指定し、地場産業の新事業展開や地域活性化への活用を促進しており、今回、基本構想の変更を行い新たに4品目の資源を追加しました。

今後の展開について

当社は継続してAnjo Hearts PROJECTに参加し、全国でも極めて希少な量産型の工業製品による地域ブランド事業を積極的に展開してまいります。たくさんの方の優しさやぬくもりによって支えられる「ユメプラスチック」を使用し、次世代を担う子どもたちに感動を与えられるような製品開発を継続して実施してまいります。

以上